

いわふね

第 229 号

令和 4 年 7 月 1 日 発行
ときわ会岩船村上支部
広 報 委 員 会
題字 宮川 佳代子(神林中学校長)



大きくなったよ!
2年生(平林小学校)



自ら考え、行動する

ときわ会岩船村上支部支部長
村上第一中学校長 仙田 健(60年度)

昨年度に引き続き支部長を仰せつかりました。節目となる150周年を目前に控えた今、不易と流行を見極めながら、会員一人一人が「ときわ会員で良かった」と自信をもって言える支部となるよう、伝統ある支部活動の充実と発展に精一杯務める所存です。よろしくお祈りします。

大橋伸夫会長は、「一人一人がときわ会に価値を見だし、自ら考え、行動し、よりよい自己を作り上げるために、主体的に参加し楽しんでいる会員一人一人の姿」を目指す姿とし、「新しい時代の教育に向け、自らを高め続ける会員一人一人を支えるときわ会」を基本方針としました。そして、活動の重点として、「会員一人一人が必要とする資質や指導力を向上させる研修の推進」「会員一人一人や各組織への支援を進めることによる人材育成と組織の活性化」「ネットワークの拡充を通じた、開かれた活動の推進」「150周年記念事業の準備の推進」を重点として位置付けました。また、その重点達成のために、会員のやりたいことに応える研修のシステムとして、既存の研修にとらわれず、誰もが企画できる「セレクト研修」の制度を新たに立ち上げるとともに、直接、会員に研修情報を届けるLINEによる情報発信を始めることになりました。

これらのことを踏まえ、会員の皆様には、改めて自分にとってのときわ会の価値を確認いただくとともに、研修の一層の質の向上や人材育成、組織の活性化に向け、「何のため」ということにこだわり、自由かつ柔軟な発想で支部の活動を進めていただきたいと思います。そして、当支部の活動が、皆様にとって楽しく、やりがいを感じられる活動となるよう、自分自身の成長の実感や目指していた子供たちの姿につながっていくように、132名の全会員が自ら考え、行動していきましょう。令和4年度、気持ちを新たに、様々な研修や親睦の機会を通じて、「ともに学び」、会員の資質や指導力が「ともに高まり」、そのことで「一人一人が光を放つ岩村支部」を目指します。